

大谷小学校5年生が学校敷地内で田植え実習 地域連携カリキュラム「米作りをしよう」

子どもたちに農業への関心を高めてもらおうと、春日市立大谷小学校で田植えの体験が行われます。体験するのは、5年生の児童およそ70人です。

春日市は、田畑が少ない住宅都市であり、子どもたちが農業に触れる機会も減っていることから、同校では20年ほど前から米作りに取り組んでいます。

当日は、学校敷地内に作られた田んぼで、筑紫農業協同組合の職員から指導を受け、福岡県産米の苗を植えます。秋には、育てた米を自ら収穫して食べるのが、子どもたちの楽しみにもなっています。



▲過去の大谷小学校での田植え実習の様子

地域連携カリキュラム「米作りをしよう」

自分たちの住む地域でも米作りができることを知り、米作りに関心を持つことを目的に、5月から12月にかけて田植えから収穫までを体験する授業です。

※ 撮影不可の児童が1名います。詳しくは、担当教員に当日確認してください。

- 日時 6月28日（水） 午前8時30分～正午
- 場所 春日市立大谷小学校（大谷4-1）
- 参加者 5年生児童、担当教員など
- 担当課 春日市教育委員会 教育部 地域教育課 地域教育担当（担当 宮本）
春日市原町3-1-5
TEL 092-584-1111(代) FAX 092-584-1145
E-mail syakai@city.kasuga.fukuoka.jp

春日市は、学校・家庭・地域の三者による子どもの「共育」を推進しています

【リリースに関する問い合わせ】

春日市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒816-8501 福岡県春日市原町3-1-5

電話 092-584-1111(代)

Fax 092-584-1145

E-mail koho@city.kasuga.fukuoka.jp

Web <https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/>